

# 竹工芸の魔法リメイク



ブーケラッピング

and



京竹工芸



## 京竹工芸の課題

- ・竹の使い道の幅が理解されておらず、限られた用途しかないと思われていること
  - 身近で親しみやすい商品からはじめ、幅広い世代の人に京竹工芸について知ってもらうことが大切
- ・制作過程での廃材
  - 竹の中心部分の脆く折れやすい箇所や竹屑は捨てられてしまう
  - 再生可能な京竹工芸に！

京竹工芸は竹という良質な素材の材料をもとに、華道やインテリアなど幅広い分野で作られる作品



## 京竹工芸 × 美術

### 京竹ラッピング

お花屋さんで花を買う時、花を持ち運ぶ時、誰かにプレゼントするとき使える竹を使ったラッピング

### いつ、どのように使える？

- ・花束のラッピングとしては花を持ち運ぶ時やプレゼントにするとときなど
- ・色でデザインを加えることで様々なシチュエーションでの使用ができ、幅広い世代に手を取ってもらいやすいようなものに

### 使い方は他にも！

ラッピングとして使用せずにそのまま壁に立てかけ、アクセサリー掛けとしての使用もできます。フックを網目にかけて収納にも役立ちます。

### 美術の知識

美術で学んだ色の使い分け、パターン、形、などを活かして様々なデザインを作ります。類似色を使ったものや、補色を使用したものなど、色を使い分けて面白い商品がたくさんできます。編み方を変えて、パターンを作ったり形を作ったりもできます。

身近なところでよく目にすることで、京竹工芸を多くの人に知ってもらい、親しみを持ってもらうことができます。また、デザイン・編み方・模様を考えたり選んだりすることで、今日竹工芸の楽しさをしてもらうことができ、商品の人気や後継者の増進にもつながる

頑丈で熱伝導率の高い竹材は、日本文化を代表する茶道、華道の道具、笛、尺八などの楽器、竹刀、弓などの武道具などを作るのによく使われており、日本の生活や文化に根ざした素材と言えるでしょう。その中で、かご作りを体験しました。

昔から受け継がれてきた京竹工芸は、職人・貢献者と生産量の減少などの問題に直面しています。今、洋風の家にある内装や、気軽に使えるアクセサリー、おしゃれな椅子やお皿など、様々な新しいアイデアが出ています。

## 京竹工芸 × 生物/化学

### 生物の知識

生物の授業で、エコロジカル・フットプリントという、人間活動により消費される資源量を分析手法をまなびました。今の時代はこの数値が大変高く、個人個人が資源をたくさん必要としていて、環境破壊につながっていることを学びました。できるだけ再利用できるものを選んで使用する大切さを学びました。そのため、使われない竹を使用し、ゴミを減らす商品をかんがえました。

### ブーケが一生の思い出に！

竹でできたお花のラッピングをそのままカゴにできる工夫をします。家に花ブーケを持ち帰った後、簡単に編み直して可愛いカゴをつくることができます。記念日や結婚式など特別なイベントのお花ブーケの竹ラッピングをカゴに変身させることで永遠と記念品として置いておくことができます。環境のことを考えているだけではなく、お客様の心を掴むような商品と工夫をしました。